橿原市の危機を知って立ちあがり、市民の皆さまより市長に選んでいただいて以来、初心を忘れぬよう「市民のための政治」を問い続け、橿原市の改革にまっすぐ取り組んでまいりました。

たとえば、「健康」「安全」「文化」に重点を置いた土地整備計画を進めてまいりました。ムダなものはつくらない！この事を基本に、「いまあるものをどう生かすか」を考え、市民の皆さまが笑顔で暮らせるためのお手伝いをしてまいりました。

その結果、この４年間で、長期の借金である地方債は、企業会計を含めた全会計で約１１０億円削減。これは、経営者として培われた経営感覚と決断力、そして実行力が生きたものと自負しております。

ですがこれまでの期間は、本当の意味で橿原市を再生させるためのいわば“種まき”の時期であり、芽を育み、大きな花を咲かせられるかどうかは、これからの政治にかかっています。
皆さまとともに立派な花を咲かせるため、「まっすぐ実行一直線」をモットーに、やさしさと強さのバランスをとりながらしっかりと前を向いて取り組んでまいりたいと思っております。

森下　ゆたか

政治家として、 経営者として、何より 一市民として。

私は医者として、経営者として、そして政治家として、多くの「実行」に携わってきました。また、私自身、長年暮らしてきた橿原を心から愛し、子ども達に明るい未来を残したいという強い「想い」があります。
ここからが正念場。いまこそ、実行のときです！